



社会貢献イベント 朗読会「ことばの力を楽しむ会」札幌公演を開催しました

伊藤忠エネクス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：岡田賢二）は、9月30日（日）、社会貢献イベントの朗読会「ことばの力を楽しむ会」をふきのとうホール（北海道札幌市）において開催いたしました（主催：伊藤忠エネクス、協力：伊藤忠エネクスホームライフ北海道株式会社、日商プロパン石油株式会社、王子・伊藤忠エネクス電力販売株式会社、後援：札幌市、札幌市教育委員会）。

「ことばの力を楽しむ会」は社会貢献活動として、東日本大震災の被災地の方々の生きる力を応援することを目的に2014年から開始しました。震災を忘れないという思いと、朗読を通してあらゆる世代のことばの感性を育てたいという願いとともに全国で継続して開催、今回で8回目の開催となります（2013年度：青森県八戸市、2014年度：宮城県仙台市、2015年度：東京都中央区、2016年度：石川県金沢市と東京都中央区、2017年度：福岡県福岡市と東京都千代田区）。

今回は北海道胆振東部地震にて被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げるとともに、ことばの力で北海道を勇気づけたいという思いを込めて開催し、200名を超えるお客様にご観覧頂きました。

出演は第1回目からご出演頂いている山根基世さん、第2回目からご出演頂いている進藤晶子さんの朗読をはじめ、北海道出身の歌手である酒井美直さんをゲストとしてお招きし、アイヌ神謡の朗読とアイヌの音楽や歌を披露して頂きました。

なお、会場では北海道胆振東部地震被災地支援のための任意募金を呼び掛けいたしました。集まりました募金はすべて「日本赤十字社北海道支部」に寄附させて頂きます。

当社は今後も「ことばの力を楽しむ会」等の社会貢献イベントを通じて、活力ある未来を築く次世代に豊かな心を育くみ、地域の創生に貢献してまいります。

次回の「ことばの力を楽しむ会」は2019年1月27日（日）に東京での開催を予定しております。観覧者募集のご案内は後日当社ホームページに掲載させて頂きます。

※「ことばの力を楽しむ会」開催概要（朗読作品、出演者プロフィール等）につきましては、別紙のプログラムをご参照ください。

会場の様子



ピアノとチェロの演奏でスタート



左：進藤晶子さん 右：山根基世さん



進藤晶子さん朗読「椰子の実」



酒井美直さんがアイヌの楽器を演奏



アイヌの伝統舞踏を教えてくださいました



落ち着いたメロディーの伝統歌



山根基世さん「君たちはどう生きるか」朗読の様子



【本件に関するお問い合わせ先】

伊藤忠エネクス株式会社 コーポレート・コミュニケーション室／國貞 洋行 TEL 03-6327-8003

朗 読 会

ことばの力を楽しむ会

～わたしらしくあなたらしく～

2018年9月30日(日) 13:30～15:30 (開場13:00)

ふきのとうホール

プログラム 開場13:00/開演13:30

第1部 60分 (13:30～14:30)

進藤晶子

朗読 「椰子の実」 川上弘美『ざらざら』より

酒井美直

演奏 「Cirotto」 IMERUAT 1st Album 「Black Ocean」より

朗読 「懸巢の娘の自叙」 久保寺逸彦=編訳『アイヌの神謡』より

演奏 「ルフルール」 IMERUAT 3rd Album 「Far Saa Far」より

(休憩15分)

第2部 45分 (14:45～15:30)

山根基世

朗読 「君たちはどう生きるか」 (抜粋) 吉野源三郎

終演 15:30 (予定)

朗読作品紹介

「椰子の実」川上弘美

なんでもできる優等生の兄と、劣等感を抱く妹。そんな二人の関係は成長とともに逆転、やがて兄は人生につまづき、両親と不和になり家を出て行ってしまふ。しかし、妹は自分の結婚式に兄を招待、久しぶりの再会を果たす。そこで二人が思いがけず口ずさんだのは、幼いころ一緒に歌った「椰子の実」だった。それぞれの人生を歩みながら、互いを思い、かけあった言葉とは―

「懸巢の娘の自叙」久保寺逸彦=編訳

踊りが評判の懸巢(かけす)の女神は、夫になると定められた隣村の豪傑のもとへ向かうが、道すがら化物女に邪魔をされ汚い身なりになってしまふ。それでも隣村に行くと、なんと、あの化物女が自分になりすまし妻となっていた!しかし、男は、鉢合わせした二人の外見にとらわれることなく、真実を見抜こうと言葉をかけていく。

「君たちはどう生きるか」吉野源三郎

15歳の本田潤一は、日々直面する悩みや疑問を叔父にぶつけていた。叔父は、潤一の亡き父親から「あれに、立派な男になってもらいたい」と告げられ、その思いに応えようと向き合っていたのだ。互いを「コペル君」「叔父さん」と呼び合い、様々なことを語り合いながら思索を深めていく二人。やがて潤一は、自分の生き方について、その決意を書き綴っていく。



元NHKアナウンサー
山根基世 (朗読)



元TBSアナウンサー
進藤晶子 (司会・朗読)



歌手
酒井美直 (朗読・うた)



飯田俊明 (ピアノ・作曲)



富田千晴 (チェロ)

1948年、山口県生まれ。71年、早稲田大学文学部卒。同年、NHK入局。報道、美術、旅番組など多数の番組、NHKスペシャル「人体」「映像の世紀」等、大型シリーズのナレーションを担当。2005年、女性として初のアナウンサー室長。07年、NHK退職。00年、放送文化基金賞受賞。15年度より、公益社団法人文字・活字文化推進機構にて「山根基世の朗読指導者養成講座」開講。「山根基世の朗読読本」「こころの声を「聴く力」」他、著書多数。FM TOKYO「感じて、漢字の世界」毎週土曜日JFN全国38局ネットで放送中。TBS日曜劇場「半沢直樹」ナレーション担当。

1971年生まれ、大阪府出身。神戸松蔭女子学院大学卒業後、94年、TBSにアナウンサーとして入社。「NEWS23」のキャスターを務める。99年10月から「ニュースの森」のメインキャスターとして活躍。2001年、TBSを退社しアナウンサーを経て独立。朗読、エッセイの執筆の他、各界の著名人数百人を取材するなどインタビューとしても活躍する。慶應義塾大学大学院で「在宅介護」をテーマに研究し、修士課程修了。現在、TBSテレビ「がっちりマンデー!!」で司会を務める。

北海道帯広市生まれ。作曲家の浜渦正志との音楽ユニット「IMERUAT (イメルア)」のボーカルとして活動し、これまで4枚のCDをリリース。日本、北米、ヨーロッパ各国で多数のライブを行っている。ボーカリストとして「ファイナルファンタジー」シリーズ、「グルーヴコースター」など多数のゲーム音楽にも参加。幼少期よりコンテンポラリーダンス、アイヌ伝統舞踊を習い、伝統歌や伝統楽器の演奏も行ふ。株式会社MONOMUSIK (音楽事務所) 代表。

クラシカルクロスオーバーを軸に、多彩なジャンルで活動を行なうピアニスト、作編曲家。武蔵野音大大学院修了。PTNAコンペティションDuo特級最優秀賞受賞。その後、池田直樹、岡本知高、平原綾香や、劇団四季、宝塚歌劇団、オカリナのホンヤミカコ、タンゴの喜多直毅、ジャズの北浪良佳、環境音楽の小久保隆など多彩なジャンルのアーティストを演奏・作編曲でサポート。最近の作品には、NHK高知発地域ドラマ「ダルマさんが笑った」主題歌作編曲、安藤美姫のアイスショーフルオーケストラアレンジ、春野寿美礼ニューアルバムアレンジ、NHKドラマ「クロスロード」アレンジなどがある。

山口県宇部市出身。東京藝術大学音楽学部卒業。デザインK国際音楽アンリミテッドコンクール全部門でグランプリ受賞、横浜国際音楽コンクールアンサンブル部門第一位、他受賞歴多数。城田優初演出作品、ミュージカル「アップル・ツリー」でメインチェロに抜擢。ブロードウェイミュージカル「A CLASS ACT」に演奏出演決定。また、秦基博、絢香、山崎育三郎等、アーティストのライブサポートやレコーディング、ツアー、TV番組に参加。クラシックのみならず、ゲーム音楽等、様々なジャンルのレコーディング、コンサートに参加。